



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 43

2010.6.2 (No.2594)

第2560地区ガバナー／植木康之
会長／菊池 渉
会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)
副会長／山田 富義(クラブ奉仕B)
幹事／松永 一義
S A A／成田 秀雄
会計／石月 良典

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:55名中36名
■先々週出席率:80.39%

【ゲスト】

・三条雲蝶会 事務局長 角田道雄 様

【ヴィジター】

・米山奨学生
ジャック・ティオ・ヨウ・チオ 君

【先週のメイクアップ】

【5.23】 槻の森公園草刈りへ

- ・菊池 渉さん、 樺山 仁さん
- ・斎藤弘文さん、 小越憲泰さん
- ・松永一義さん、 杉山幸英さん
- ・小出子恵出さん、 金子俊郎さん
- ・阿部吉弘さん、 丸山行彦さん
- ・熊倉博之さん、 船越正夫さん
- ・山田富義さん、 石月良典さん
- ・田中 仁さん、 平原信行さん
- ・伊藤寛一さん、 以上17名

【5.27】 加茂RCへ

- ・西川文夫さん、 渡邊喜彦さん

【5.28】 吉田RCへ

- ・西川文夫さん、 渡邊喜彦さん

【5.29・30】 ローターアクト地区協議会へ

- ・野崎喜一郎さん、 成田秀雄さん

【5.31】 三条南RCへ

- ・丸山行彦さん、 熊倉博之さん
- ・藤田紘一さん、 斎藤弘文さん
- ・中村和彦さん

「五色沼」



荻根澤隆雄 会員より

会長エレクト挨拶

ノ于(リ)甲

樺山 仁 会長エレクト



御挨拶申し上げます。

今日は我々が歌っております「四つのテスト」について考えてみたいと思います。

本来「四つのテスト」とは、職業人としての心構えをロータリーの倫理として考えられ、事業を繁栄に導く為の四通りの基準ということで、一つずつクリアすれば良しということではなく、四つが一つと考えなければならないのであります。

① is it the truth? (真実かどうか)

嘘偽りが無いかどうか、という意味ですが、真実とは人間が心の中での判断で決められますが、本当は真実というAかBかの直接的に判断されるものと言われます。

② is it fair to all concerned? (みんなに公平か)

fair は公平でなく公正と訳され、全ての取引先に対し公正かどうかを問われます。

③ will it build goodwill and better friendship?

(好意と友情を深めるか)

goodwill とは、単なる好意というのではなく、仕事上の「信用」を表し、店ののれんや取引先を表し、商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を作るという意味であります。

④ will it be beneficial to all concerned ?

(みんなの為になるかどうか)

benefit とは、商売上の「儲け」という意味で、売手・買手共に適正な利潤追求が出来るかどうか、という意味であります。

「四つのテスト」の目的は、職業奉仕として人間関係における高い道徳的水準を向上させ、それを維持する為とされております。

ロータリーの基本的奉仕の原点は、「Do for others」人々の為に考えを進めることが、基本であると思えます。

本日は「四つのテスト」について、改めて勉強してみました。

挨拶を終わります。

ニコニコBOX

菊池 渉さん

最後の理事会を終了しました。いろいろご協力ありがとうございました。

樺山 仁さん

5月31日、6月1日と家庭会合が終わり、いよいよ責任が増してきました。皆さんの協力を願っております。

本日の卓話の角田様に期待しております。

荻根澤隆雄さん

5月31日、6月1日(昨日)の家庭会合、次年度会長、幹事の樺山さん、明田川さんご苦労様でした。

会田二郎さん

ようこそ、ジャック君。二年間のスタートです。

角田様の卓話に感謝して。

渡辺 稔さん

当社事務所を移転致しました。西大崎1丁目、下村工業さんの隣りです。成田さんご近所になります。よろしく願い致します。

野崎喜一郎さん

自宅の不用品を捨てました。タンス、フトン、子供のおもちゃ等、ものすごい量でした。

少し家の中が広くなりました。

北山裕史さん

出張続き、2週続けて欠席してしまいました。

これからも旅行シーズンなので心配です。

加藤紋次郎さん

樺山次年度新会長の御活躍を祈念して。

小林敬典さん

角田様、本当にお久しぶりです。お話しを楽しみにしております。

川瀬康裕さん

所用にて早退させていただきます。

杉山幸英さん、米山智哉さん、成田秀雄さん、五十嵐昭一さん、丸山行彦さん、松永一義さん、石月良典さん、小出子恵出さん、平原信行さん、高橋 司さん

角田道雄様、本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

6月2日分 ¥23,000

今年度累計 ¥1,077,500

米山奨学生

ジャック・ティオ・ヨー・チオ 君



こんにちは、マレーシアから参りましたジャックと申します。長岡技術科学大学の機械創造工学専攻科の修士一年生です。皆様にお会いできて大変嬉しいです。これから2年間よろしく申し上げます。

卓 話

「木彫刻界の巨匠 石川雲蝶」

三条雲蝶会 事務局長 角田道雄 様



只今ご紹介をいただきました、三条雲蝶会の角田です。

長い歴史と伝統のあります三条ロータリークラブ様からお呼び下さいまして誠にありがとうございました。

法華宗総本山本成寺の大鐘つきを毎朝5時に行っていますことや、参拝者と持者のこと、朝の勤行等についてもお話ししようかと思っておりましたが、私に与えられました時間内に終わりますようさっそく本題の石川雲蝶につきまして話しをさせていただきます。

石川雲蝶は襖の彩色画や格天井の絵を残しておりますが、石川流として若い頃から名を知られていた彫刻師です。何となく雲蝶という名前くらいは聞いたことはあるが、さっぱり作品は思い出せないという方もいらっしゃるでしょう。逆にあの魚沼の開山堂の極彩色の彫刻を見られて、これは凄い見事なものだと感動された方も、作者の名前など関係が全然なかったという方もいらっしゃると思います。

本名は石川正照で、江戸雑司が谷に文化11年（1814年）に生まれております。その雲蝶がなぜ雪深い越後にて数々の作品を残したかということです。

一説には雲蝶自身、旅に出てみたくなったということです。

雲蝶の青年期には江戸幕府も次第に力が弱まり、何となく江戸が騒めいており、神社仏閣が建たなくなり、仕事も減ってきた。やがては戊辰戦争・明治維新と続く訳ですが、一方地方の文化がようやく花を咲こうとしてきました。

雲蝶が自分自身の目で確かめようと江戸を後にする訳です。

越後に来るには三国の山を越えなければいけない訳です。

頂上の権現様で一休みをしていると、偶然にも一人の男と出会うのです。それが埼玉県熊谷生まれの小林源太郎です。歳は16才年上であり、その先、師であり、よきライバルでもあり、仕事の協力者でありましたが、最後は喧嘩分かれをするのです。

どうも三国山頂の権現様で、小林源太郎に会って彫刻の腕比べをしたというのも年号も判然とせず、俗説ではないかと思えます。

もう一つの説として、魚沼の永林寺の和尚が呼ん

だのではないかという話です。

永林寺の和尚は、口も八丁・手も八丁、算盤も弾くし、酒も飲む、あの和尚の口車に乗せられて越後へ来たという説で、これも俗説と思えます。

永林寺の和尚が三条木場町から材料をしこたま買い込み、鋸・ノミなど檀家の真島家の亀蔵を厳選し買って帰り、三条で働いていた雲蝶を呼んだという話しが転じて、江戸から雲蝶を呼び寄せたという説に変わったのだらうと思えます。

本成寺と石川雲蝶

いや、そうではない。本当は越後三条の金物の豪商、内山又造が江戸へ商いに行った時、取引先の床の間の彫り物があまりにも見事なので、この彫刻は誰の作かと尋ねると、石川雲蝶ということが判った。

そこで内山又造は是非三条に来て、本成寺の欄間を彫ってもらいたいとお願いする訳です。

内山又造は普請中の本成寺の檀徒総代でおられました。みなさんよくご存じの元三条市長の内山裕一氏のご先祖で、この説は確かと思えます。

雲蝶はやがて本成寺の欄間や納骨堂の十二支を完成させます。

そして塔頭のお寺さんからは、次々と注文が入る訳です。

後に雲蝶の作であるという証明するものが出てきました。それは本堂に向かって右側、赤門に最も近い本照院様の山門から棟札が出てきたのです。板を合わせた棟板が屋根裏から出て来たのです。

それには、大工門前 石田勘助、彫刻 石川雲蝶と書いてあったのです。調べてみると雲蝶34歳の時の作であることがわかりました。本照院様の山門には獅子頭が両側に、屋根の南と北には飛龍がごぞいます。飛龍には爪があり、羽根があります。お経の守り神です。

その他、静明院様の亀、近いうちに専門家の鑑定が発表されることと思えます。久成院様の獅子頭、その他、最も沢山ありますのは、本成寺発祥の地である青蓮華院様です。ここには正式な銘の石川安兵衛源雲蝶と書かれた彫り物があります。

源の文字を使った銘はほんの数ヶ所しかありません。その他本成寺の各お寺さまにはまだまだ数々の作品がごぞいます。もちろん本山にもあります。

本成寺の仕事が一段落したこの頃は四ノ町の酒井家の娘クニと結婚して、婿入りして、一男一女をもうけましたが、あまり家庭をかえりみず報酬も無頓着のようでした。

どの書物を見ても、大酒飲みで賭博が大好きとあ

ります。しかし、そんな単純な人間ではないと思います。雲蝶こそ古事来歴を知りつくした天才と思います。

道元禅師の猛虎調伏の図にしろ、秋葉神社の牛若丸と烏天狗など、まことに意味深長なものがございます。

本成寺を振り出しに、開山堂、永林寺、秋葉三沢坊奥の院などの大作を成し遂げた雲蝶も病には勝てず、明治16年5月13日逝去するのです。墓碑は本堂の東側にございます。

碑文は作家の緑川玄三さんに依るもので、「木彫刻界の巨匠石川雲蝶は江戸雑司が谷に生まれる…」と始まる一文が印してあります。

そして雲蝶が亡くなって十年後、今度は本成寺は火災の悲劇に遭うのです。

近くからの類焼で、明治26年3月16日庫裏が焼け、客殿が燃え、納骨堂牛の間の大牛、天女の彫り物があった本堂の欄間も全部燃えてしまうのです。雲蝶が若かりし頃、心血を注いだ作品が本山から全て焼失してしまっただけです。

しかし、二年後には雲蝶の息子の儀平さんが、赤牛を寄進してありますし、牛の間には弟子の久助の作と思われる牛がございます。その他、蓮如院様の柿の実を持つ猿や、近々専門家により発表されると思います。久成院様の門の獅子頭など、まだまだ本成寺には数多くの作品があります。

いするぎ 石動神社と石川雲蝶

雲蝶の彫り物で忘れてならないものに、同じ三条市で吉野屋の石動神社の彫刻があります。この神社の雲蝶の大作としては最後のもので円熟した晩年の56歳の作です。「源頼光と四天王の大蜘蛛退治」・「源頼政のヌイ退治」・「俵藤太と竜の化身」・「加藤清正と高麗人」・「神功皇后の三韓征伐から帰国」というような、立派な作品がございます。神社丸ごと雲蝶の作品であります。ここは430段の石段を登らなければなりません。標高が約95m、参道からの高低差約76mあります。

そして、登った後には神功皇后のでかいオッパイを觀賞されると元気百倍になります。

最後に、雲蝶の作品全体としての特長は見る人の心の奥まで計算され表現されていることです。開山堂や栃尾の貴渡神社のように、人様に感動を与える物語りを秘めておりますことをお伝えして、私の話を終わりにします。ご静聴ありがとうございました。



本成寺本堂（雲蝶墓碑のあるのは東側）



神功皇后と武内宿禰



加藤清正と高麗人



いするぎ
石動神社でのガイド

<社会奉仕委員会より>

去る5月23日(日)AM6:30から榎の森公園の除草作業を行いました。

当日は17名の会員の方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。

次回、第二回目は、6月19日(土)に計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

(出席者は週報メイクアップの欄にのせてあります)



次週例会 6月23日 クラブ・フォーラム

次々週例会 6月30日 会長・幹事慰労会
PM 6:30~ 於 二洲楼

